

令和6年度 保健体育（保健分野） 第2学年 年間指導計画

月	時数	単元名 (小単元名)	ね ら い	評価基準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	学習指導要領
4	1	●健康な生活と病気の予防 生活習慣の変化と生活習慣病	生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることを理解させる。	生活習慣病について関心をもち、これまで学習したことや資料を活用して、積極的に調べたり話し合ったりして、学習しようとしている。	健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	(1)-ウ (ウ)
	1	生活習慣病の予防	生活習慣病の予防について関心をもち、積極的に調べたり話し合いに参加したりして、学習しようとしている。				
5	1	喫煙と健康	喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処すること必要であることを理解させる。	喫煙がからだにおよぼす害について関心をもち、学習しようとしている。			(1)-ウ (エ)
	1	飲酒と健康		飲酒がからだにおよぼす害について関心をもち、学習しようとしている。			
6	1	薬物乱用と健康		薬物乱用がからだにおよぼす害について関心をもち、学習しようとしている。			
	1	喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ		薬物乱用を防止するにはどのようにすればよいかについて関心をもち、学習しようとする。			(1)-イ
7	1	●傷害の防止 傷害の発生要因と防止	中学生の事故やけがの現状について理解し、その原因について分析的に考える。また、事故やけがをしない視点を明確にする。	小・中学生の事故死の原因について、その実状に関心をもち、学習しようとしている。	傷害の防止について、危険を予測やその回避に方法を考えているとともに、それらを表現している。	傷害の防止について学習に自主的に取り組もうとしている。	(3)-ア
	2	交通事故などの要因と傷害の防止	交通事故などによる傷害の多くは、安全な行動、環境の改善によって防止できることを理解させる。	交通事故の現状について、その現状に関心をもち、学習しようとしている。			(3)-ア (イ) (3)-イ
8	1	犯罪被害の防止	「車両の特徴」とはどんなものかと考え、交通事故を防止するためにどんなことを知っておくとよいか理解する。	交通事故を防止するための視点に関心をもち、学習しようとしている。			
	1	自然災害による傷害の防止	自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によって生じること、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に非難することによって防止できることを理解させる。	自然災害の現状を知り、身近なものとして関心をもち、学習しようとしている。			(3)-ア (ウ)
9	1						
	1						
10	1						
	1						

11	1	応急手当の基本	傷病者を発見したときにその状態をどのように判断し、適切に手当をするかの手順について理解する。	傷病者を発見したとき、どのように対処するかについて、手順に関心を持ち、学習しようとしている。			(3)-イ (エ)
	2	心肺蘇生	胸骨圧迫及び人工呼吸の行い方を理解し、正しい人工呼吸法の技能を身につける。	胸骨圧迫及び人工呼吸について関心を持ち、学習しようとしている。			
	1	出血があるときの応急手当	出血時の応急手当として、止血法や包帯法の行い方を理解し、正しい手当の技能を身につける。	止血法・包帯法・三角巾について関心を持ち、学習しようとしている。			
	2		ねんざ、脱きゅう、骨折や日常生活の中で起こりやすいけがの手当の方法について理解し、判断のしかた・手当する際の留意点などについて理解する	身近に起こるけがについて、どのような手当を行えばよいか関心を持ち、学習しようとしている。			